

板橋区立郷土資料館

2010-10-25 10:10:08 collonte1

住所：東京都板橋区赤塚5-35-25 電話：03-5998-0081



いろいろ東京には区立の資料館があり、その区の独自の歴史を紹介しているが、板橋区は高嶋秋帆の洋式調練の地、徳丸が原、（現在の高島台団地）、加賀藩下屋敷（大砲製造所）や、近代では大宮工場関係で光学工業の盛んな地と、当史学会のテーマと共通するものが多くあった。史学会の小西氏が館長を務める同館は、そのような経緯で様々な特別展示と講演会を開催し活発である。現在は、「板橋と光学」2と言う特別展示を2010年11月末まで開催している。

新館は1-2階と続いた展示場があり、2階には120名収容の講義室がある。

常設は縄文、弥生からの郷土遺跡からの展示であるが、館の裏手には、徳丸村から移築された旧田中家が、田の字型民家と倉式の納屋が完璧な形で保存されている。



館の入り口には青銅砲が3門、内部には国産のモルチール砲が1門ある。このモルチールは小石川大砲製造所で天保12年（1841）高嶋秋帆のもと製造されたもので、口径20cm、「三番」とある。恐らく、区立の資料館としては武器・兵器・銃器類の収蔵が一番多いのではないが。



次なる特別展示に期待する。





光学展の光学兵器